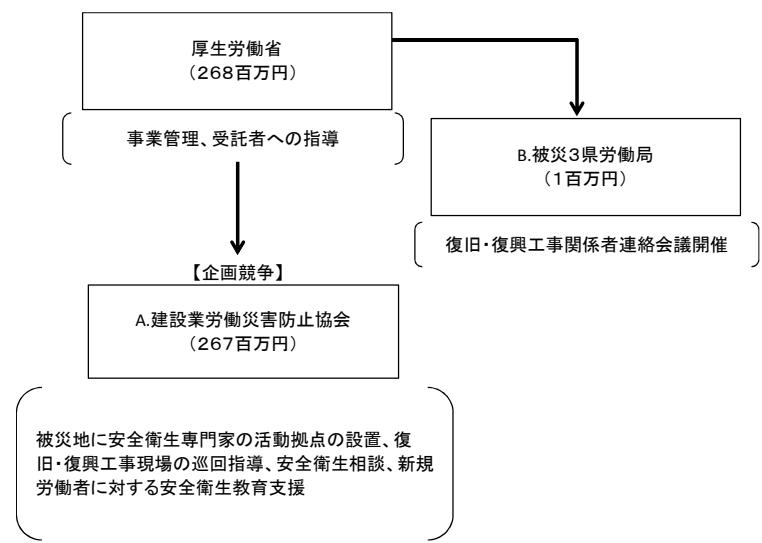


平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	東日本大震災に係る復旧・復興工事安全衛生確保支援事業		担当部局	労働基準局安全衛生部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	安全課		奈良 篤	
会計区分	労働保険特別会計 労災勘定		政策・施策名	III-2-1 労働者の安全と健康が確保され、労働者が安心して働くことができる職場づくりを推進すること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号 労働安全衛生法第106条第1項		関係する計画、通知等	第12次労働災害防止計画			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災に係る復旧・復興工事について、異業種からの新規参入する労働者の増加、大量の工事が隣接したエリアで輻輳して行われることが想定されることから、労働災害の発生が危惧される。このため、安全衛生に関する諸問題に対応する窓口となるプラットホームを被災地3県に開設し、専門家による技術的な支援を行うことで、労働災害防止対策の徹底を図り、もって円滑な復旧工事の推進に寄与する。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	1 安全衛生専門家が。 ① 復旧・復興工事現場を巡回し、より安全な作業方法等について助言を行う。 ② 安全な作業計画の作成等、安全衛生に関する各種助言を行う。 ③ 建設工事に不慣れな未熟練労働者等に対する安全衛生教育を充実させるための支援を行う。 2 安全衛生に関する諸問題に対応するための拠点を設置する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	当初予算			301	252	222	
	補正予算	228					
	繰越し等						
	計	228	301	252	222		
	執行額	146	268				
執行率(%)	63.9%	89.0%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(25年度)
	岩手県、宮城県、福島県の全建設現場に対する休業4日以上の労働災害発生率が平成22年の値(2.7%)を下回る。 ※達成度は、平成22年の値をその年の実績で除した値とする。	成果実績	%	2.7	3.6	2.8	2.7
		達成度	%		75	96	
	建設業への新規参入者に対しての安全衛生教育支援の実施の結果、役に立ったとの回答の割合を80%以上とする。	成果実績	%	-	96.1	97.6	80
		達成度	%	-	120	122	
		活動指標		単位	22年度	23年度	24年度
活動指標及び活動実績(アウトプット)	平成24年度の実績(年間1,648事業場)以上に対し、安全衛生専門家による復興工事現場に対する安全衛生巡回指導を実施する。	活動実績(当初見込み)	事業場	- (-)	1,049 (1,080)	1,648 (1,150)	- (1,648)
	(平成25年度) 年間で1,440事業場以上、2,880人以上に対して、安全衛生専門家による建設業への新規参入者等に対する安全衛生教育のための支援を実施する(平成25年度から管理監督者等に対する教育支援を追加したため、活動見込を増加)。	活動実績(当初見込み)	①事業場 ②人	- (-)	①521 ②2,691 (①360) (②-)	①1,805 ②4,772 (①860) (②-)	- (①1,440) (②2,880)
	単位当たりコスト	巡回指導 98,780(円/事業場) 教育支援 21,810(円/人)	算出根拠	巡回指導 266,868,789(平成24年度支出額) × 0.61(推計巡回指導経費割合) ÷ 1,648事業場(平成24年度アウトプット実績) 教育支援 266,868,789(平成24年度支出額) × 0.39(推計教育経費割合) ÷ 4,772人(平成24年度アウトプット実績)			
平成25年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	事業費	194	165	公開プロセスによる評価結果を踏まえた見直しを行い、次のとおり増減を図る。 ・間接経費の削減、安全衛生相談の廃止並びに新聞広告、ラジオ広告及び事業場が本来用意すべき個人用保護具への支出をしないことを仕様書に明記(▲69百万円)			
	運営費	23	26	・福島県などの被災地の状況に応じ、巡回指導の対象現場数を1,440現場から2,160現場に強化(+39百万円)			
	管理費	22	19	併せて、以下の見直しを行う。			
	消費税	12	11	・調達方式を随意契約(企画競争)から一般競争入札へ変更し、平成26年度の落札額を平成27年度概算要求に反映			
	行政経費	1	1				
	計	252	222				

事業所管部局による点検													
	項目	評価	評価に関する説明										
国費 要投入性 の 目	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	東日本大震災に係る復旧・復興工事での労働災害は多発しており、かつ、復旧・復興工事の進捗状況が被災地により異なることから、安全衛生拠点を被災地3県に開設し、専門家による技術的な支援を行う優先度は高い。										
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	労働安全衛生法第106条第1項に、国は労働災害防止に資するため、事業者が行う活動について技術上の助言その他必要な援助を行おうに努めるものとされており、本事業は国が実施すべき事業である。										
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	平成25年度から開始された第12次労働災害防止計画の目標達成のため、同計画の重点施策として東日本大震災の復旧・復興工事対策が位置付けられており、当該事業の優先度は高い。										
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	△	事業実施に高度な専門性を要し、被災地の状況が刻々と変化することから、事業内容に関して、応募者において価格競争のための入札価格の見積もりを行えるに足る具体的なものを提示することが困難であることから企画競争による調達を行ったものであるが、今後は、予算の効率的な執行の観点から一般競争入札による調達を行うこととする。										
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	本事業は、労働災害の防止のため、事業者に対して支援を行うものであり、事業者から徴収した労災保険料から経費を支出していることから、受益者との負担関係は妥当である。										
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○	経験のある安全衛生指導員による復興工事現場に対する安全衛生巡回指導等の費用として妥当である。										
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	事務所等管理費は、本事業を担当する職員の人事費や職員等が占有する面積割で支出された借料等であり、合理的なものとなっている。										
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	△	本事業の遂行に要した指導員、業務管理者等に対する謝金等、保護具購入費等、被災地の活動拠点のための事務所、車両等借料等の真に必要なものに使用されている。一方、新聞・ラジオ広報及び事業者が用意すべき防じんマスク等は、震災直後にはその必要性があったものであるが、今後はこのような支出を行わないよう見直すこととする。										
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	不用率約11%の原因は、平成24年前半は復興工事の遅れから本事業の支援対象が少なかったが、平成24年度後半は復興工事が本格化し、支援対象も増加し、事業の目標を達成した。一方で、1日に2箇所を巡回指導を行うなどにより指導員の謝金等を削減できたものである。										
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果のある低い低成本で実施できているか。	△	本事業は、被災地の復興等工事の急増に伴い、行政だけでは対応できない現場指導の補完等を図ることを目的として委託事業として実施し、行政が行う現場指導と同等の効果を上げている。他の方法として行政が巡回指導等を行う専門家を直接雇用することも考えられるが、この場合でも同様の間接経費等が必要であること、行政職員による管理運営が必要であり、行政が行う現場指導等の件数の減少につながることから直接雇用は困難である。また、本事業の遂行に要した経費は概ね合理的なものとなっているが、効果の測定が難しい新聞・ラジオ広報及び事業者が用意すべき防じんマスク等へ支出については、今後これを支出しないように見直すことにより、コストの削減を行うこととする。										
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動実績は、当初の見込みに対し、巡回指導事業場数で約1.4倍、新規参入者教育支援事業場数で約2.1倍であり、大きく上回った。当初見込みを大幅に上回っていることから、平成25年度からは前年の活動実績等を踏まえて当初見込みを設定することとする。										
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	被災地に3拠点(岩手、宮城、福島)を設置し、工事現場の巡回指導、安全衛生相談、安全衛生教育、広報啓発活動も効率良く実施できている。										
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—	—										
点検結果	事業番号 類似事業名 所管府省・部局名												
	東日本大震災に伴う緊急の対応が必要となり、平成23年度補正予算により実施することとなった事業であり、平成24年度以降も復興工事の本格化とともに、人材不足が顕在化しており、労働災害の発生も懸念される状況にある。また、平成26年度以降も、工事量が高水準で推移することが見込まれ、労働災害の発生が懸念され、本事業を継続する必要性が認められる。平成24年度の成果実績は、成果目標をわずかに下回っているものの、事業の効果が認められており、活動実績も当初見込みを上回っていることから、平成26年度も本事業を継続する妥当性が認められる。また、事業の実施に当たっては、予算の効率的な執行の観点から一般競争入札による調達を行うとともに、費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されるよう仕様書を見直すことが適当である。												
外部有識者の所見													
事業全体の抜本的改善(予算の適切な使用や効果の分析、労働災害防止の強化の観点から事業内容・実施方法の抜本的見直しを念頭に更なる見直しを行い、概算要求へ適切に反映せざるがために必要な見直しを行なうことを示す)													
行政事業レビュー推進チームの所見													
縮減	公開プロセスでの評価結果を踏まえ、中間段階の間接経費に過大な支出がされていないか、効果の分析がされているか、という観点から、活動実績、事業効果を検証し、予算を縮減すべき。												
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況													
縮減	公開プロセスによる評価結果を踏まえて、以下の見直しを行う。 ・間接経費の削減、安全衛生相談の廃止並びに新聞広告、ラジオ広告及び事業場が本来用意すべき個人用保護具への支出をしないことを仕様書に明記(▲69百万円) ・福島県などの被災地の状況に応じ、巡回指導の対象現場数を1,440現場から2,160現場に強化(+39百万円) ・調達方式を随意契約(企画競争)から一般競争入札へ変更し、平成26年度の落札額を平成27年度概算要求に反映												
備考													
関連する過去のレビューシートの事業番号													
平成22年	—	平成23年	新23-086	平成24年	0928								



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

A.建設業労働災害防止協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	保護具購入費、労働災害防止啓発及び事業周知広報費、事務所・車両等	193			
謝金	指導員謝金、業務管理者謝金等	43			
管理費	人件費	26			
旅費	指導員交通費、業務管理者旅費等	5			
計		267	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	建設業労働災害防止協会	事業概要の記載のとおり	267	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	宮城労働局	復旧・復興工事関係者連絡会議開催	0.4		
2	岩手労働局	復旧・復興工事関係者連絡会議開催	0.4		
3	福島労働局	復旧・復興工事関係者連絡会議開催	0.4		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					